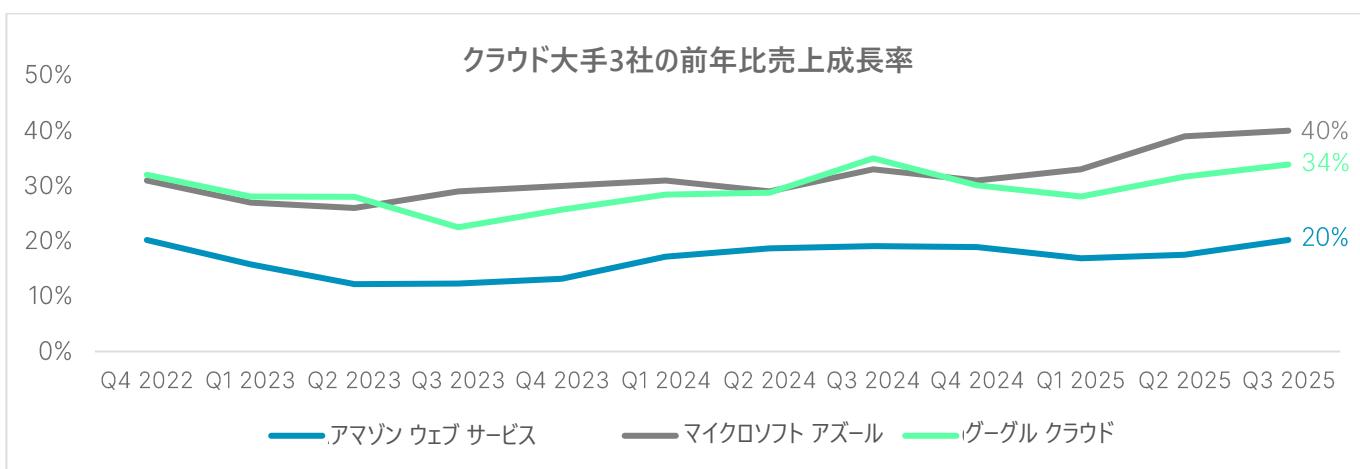


Nasdaq-100®：2025年度第3四半期 業績アップデート

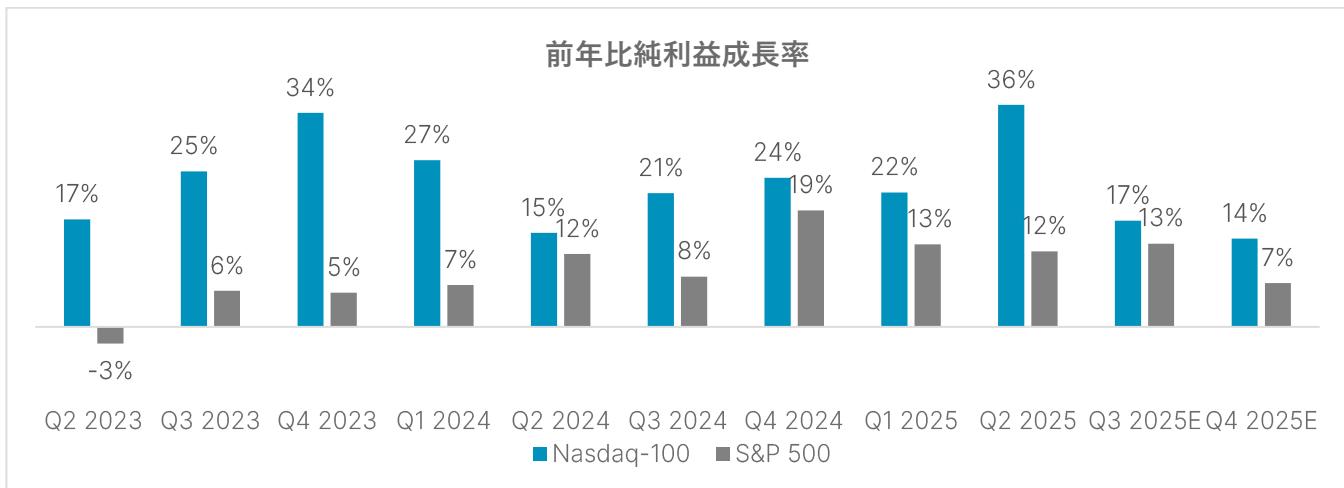
David Tsoi, CFA, CAIA, FRM, CESGA, CAMS, Head of Index Research, APAC

- Nasdaq-100構成銘柄の中で第3四半期決算を発表した企業のうち、84%が指数ウエートベースでアナリスト予想を上回りました。マグニフィセントセブンについては、全社の四半期売上高が市場コンセンサスを超えていました。テック大手の最新決算は、AIの構造的な成長を裏付ける内容となり、主要企業はAIおよびAIインフラに対する幅広い需要を背景に、設備投資（Capex）を大幅に積み増す意向を示しています。主要プラットフォームでクラウド収益が加速していることも、AIの収益化の見通しに対する信頼感を一段と高める要因となっています。現在のAI投資の急増は注目に値するものの、その規模はGDP比で見ると、1990年代後半のテクノロジーブームや19世紀の鉄道拡張期には及びません。



出所：ブルームバーグ

Nasdaq-100の第3四半期の純利益は、S&P500を上回る前年比約17%増となる見通しで、15%を超える成長が10四半期連続で続いている。とりわけテクノロジーセクターは、Nasdaq-100構成銘柄における業種分類ベンチマーク（ICB）の中で最も高い22%の成長を見込んでおり、テクノロジーが全体のパフォーマンスを牽引する構図が改めて浮き彫りになりました。



出所：ファクトセット（2025年11月19日時点）

Nasdaq-100 主要構成銘柄 第3四半期業績アップデート

- ・ [エヌビディア](#)は力強い収益見通しを発表し、AI バブルへの懸念を否定したこと、セクター全体の不安感を和らげました。今四半期の売上を、市場コンセンサスを約 30 億米ドル上回る約 650 億米ドルと見込んでおり、粗利益率は 75%に達すると予想しています。また、2025 年と 2026 年における「Blackwell」と「Rubin」の連結収益が 5,000 億米ドル規模に達する見通しが立っています。追加契約による上振れ余地の可能性も示しました。第3四半期の収益は予想を上回り、62%増の 570 億米ドルとなりました。さらにエヌビディアはアンソロピックへの最大 100 億米ドルの投資を計画しており、この取引が成立すると、AI の社会実装を主導する主要企業であるアンソロピックの事業基盤に、エヌビディアの技術が中核的な形で組み込まれることになります。
- ・ [マイクロソフト](#)の四半期収益は 18%増の 777 億米ドルとなり、市場コンセンサスを上回りました。「Azure」を含むクラウドサービスは前年比 40%の売上成長を記録し、市場予想を超える結果となりました。当期中に処理能力の拡張を実施したものの、ワーカークロード全体で需要が供給を上回る状況が続いています。また、同社の製品に搭載された AI 機能の月間アクティブユーザー数は、現在 9 億人に達しています。クラウドおよび AI 関連サービスへの需要加速を背景に、マイクロソフトは第3四半期にリースを含む 349 億米ドルの設備投資（Capex）を実施しました。
- ・ [アップル](#)の第3四半期収益は 8%増の 1,025 億米ドルとなり、市場コンセンサスをわずかに上回りました。iPhone の売上は 6%増の 490 億米ドルでしたが、アナリスト予想にはやや届きませんでした。当四半期には約 2 週間の iPhone 17 販売期間が含まれ、初期需要からは消費者の関心の高さが伺えます。一方、供給制約が影響したグレーター・チャイナでは収益が 4%減の 145 億米ドルに落ち込みました。経営陣は今四半期に急回復を見込んでおり、中国市場の成長回復と総売上の 10~12%増加により、ここ数年で最も強いホリデーシーズンになると予測しています。サービス事業は引き続き主要な成長ドライバーであり、収益は 15%増の 288 億米ドルとなりました。また、関税関連コストは第3四半期に 11 億米ドルとなり、アップルの想定どおりの水準でした。
- ・ [アマゾン](#)の四半期売上高と利益はそれぞれ 13%、38%増加し、いずれもコンセンサス予想を上回りました。アマゾン ウェブ サービス（AWS）は、成長率でマイクロソフト アズールやグーグル クロムには及ばなかったものの、売上を 20%増の 330 億米ドルとし、2022 年末の ChatGPT の登場以来で最も高い前年比成長率を記録しました。この上振れは AWS の底堅さを裏付けるものであり、加えて、エヌビディアの GPU をオープン AI に供給する総額 380 億米ドル・7 年間の契約により、大規模データセンターネットワークを拡張するマイクロソフトのケイパビリティが示されています。中核の小売事業も堅調で、オンラインストア売上は 10%増の 674 億米ドル、サードパーティ販売サービスは 12%増の 425 億米ドルとなりました。経営陣は、2025 年の年間設備投資（Capex）が約 1,250 億米ドルに達すると見込んでいます。
- ・ [メタ](#)の第3四半期売上高は 26%増の 512 億米ドルとなり、アナリスト予想を上回りました。総売上の 98%を占める中核の広告事業が引き続き好調であることを示しています。広告単価は前年比 10%上昇し、広告効果の改善を背景に広告主の需要が高まりました。同社アプリ群の 2025 年 9 月の 1 日当たり平均アクティブユーザー数は 35.4 億人となり、前年比 8%増となりました。メタは 2025 年の設備投資（Capex）見通しについて、下限を 40 億米ドル引き上げ、700~720 億米ドルのレンジに変更しました。また、第3四半期には「One Big Beautiful Bill Act」の施行に関連して、159 億米ドルの一時的な非現金の法人税費用を計上しています。さらに、300 億米ドル規模の社債発行を完了しており、これは 2023 年以降で最大の米国投資適格債の発行となります。
- ・ グーグルの親会社である[アルファベット](#)は、第3四半期の売上高が前年比 16%増の 1,023 億米ドルとなり、堅調な決算内容となりました。クラウド売上は 34%増の 152 億米ドルと急増し、同社で最も成長の速い事業セグメントであり AI ブームの恩恵を最も受ける部門としての地位がさらに強化されました。クラウドの受注残高は前四半期比 46%増の 1,550 億米ドルに達し、将来の需要に対する高い見通しが示されています。アルファベットの広告支配力を支えるグーグル検索は 15%の成長を遂げ、AI チャットボットによる競争の激化を退けた結果となりました。「AI Overviews」や「AI Mode」などの新しい AI 機能への投資も全体の検索量押し上げに貢献しています。同社は 10 月に 1.3 京（quadrillion）トークン超を処理し、前年比で 20 倍以上の成長を記録しました。通期の設備投資（Capex）見通しは、従来の 850 億米ドルから引き上げられ、年間で 910 億~930 億米ドルに修正されています。

- テスラの第3四半期の調整後純利益は前年比29%減の18億米ドルとなり、市場予想を下回りました。営業費用は50%増の34億米ドルに膨らみ、関税関連コストは4億米ドルを超えました。一方、同社の四半期販売台数は497,099台と過去最高を記録しました。背景には、9月30日に失効した米国の7,500米ドルのEV税額控除を利用して購入を急ぐ動きが広がったことがあります。テスラは、6月にテキサス州オースティンで開始したロボタクシー事業について、規制当局の承認を前提に、年末までに最大10の都市圏へ拡大する見通しを示しています。

社名	収益成長率 (前年比)	利益成長率 (前年比)	Q3 収益の 予想比乖離率	Q3 EPS の 予想比乖離率
エヌビディア	62%	59%	4%	4%
マイクロソフト	18%	25%	3%	12%
アップル	8%	10%	0.2%	3%
アマゾン	13%	38%	1%	24%
アルファベット	16%	22%	2%	24%
メタ	26%	5%	4%	-6%
テスラ	12%	-29%	3%	-12%

出所：ナスダック・グローバル・インデックス、ファクトセット、企業開示資料

注：数値はNon-GAAPベース。一時的な税金費用を除いたメタの第3四半期の純利益は186.4億米ドルです

11月19日時点でのNasdaq-100構成銘柄のうち88社（指数ウエートの89%）が第3四半期決算を発表しています。これらの企業は平均して、収益が2.3%、利益が5.1%、市場予想を上回っており、63社（指数ウエートの72%）が売上と利益の両方で予想を上回りました。

指数ウエートベースでみると、売上・利益の上振れ幅は前四半期からやや鈍化しています。銘柄数ベースでは、売上の上振れ率は前四半期並みである一方、利益の上振れ率は依然として低い水準にとどまっています。

企業数 / 指数ウエート	上振れ		下振れ	
	平均上振れ率	企業数 / 指数ウエート	平均下振れ率	企業数 / 指数ウエート
2025 Q3 収益	2.7%	77 / 85.9%	11 / 3.6%	-1.0%
2025 Q3 利益	8.9%	70 / 75.2%	18 / 14.2%	-8.7%

出所：ナスダック・グローバル・インデックス、ファクトセット（2025年11月19日時点）

免責事項：

Nasdaq®、Nasdaq-100®およびNasdaq-100 Index®はNasdaq, Inc.の登録商標です。上記の情報は、情報提供および教育目的でのみ提供されており、ここに含まれるいかなる情報も、特定の証券あるいは全般的な投資戦略に関する投資アドバイスとして解釈されるべきものではありません。Nasdaq, Inc.およびその関連会社は、いかなる証券の売買を推奨するものではなく、またいかなる企業の財務状況について表明するものではありません。Nasdaq上場企業またはNasdaq独自のインデックスに関する記述は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。実際の結果は、明示的または黙示的に示されたものとは大きく異なる場合があります。過去のパフォーマンスは、将来の結果を示唆するものではありません。投資家の皆様は、投資前にご自身でデューデリジェンスを行い、企業を慎重に評価してください。**証券の専門家からアドバイスを受けることを強くお勧めします。**英語原文の資料と本資料の内容に矛盾や相違がある場合には、原文が優先します。